

# 令和5年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市葛野老人デイサービスセンター

## 1 施設の管理運営

- ・介護保険法に基づく通所介護事業の実施
- ・京都市総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）の実施
- ・京都市配食サービス事業の受託（独居の要支援・要介護高齢者等に対する昼食サービス）

## 2 事業実施内容

- (1) 指定管理業務（本来業務：老人デイサービスセンター）
- ・通所介護事業、京都市総合事業の実施とこれに伴うサービス提供（送迎、入浴、食事、機能訓練、レクリエーション、相談業務など）
  - ・通所介護計画書に基づく個々の利用者の自立支援を目指したサービスの提供
  - ・個別機能訓練計画書に基づく個別機能訓練の実施
  - ・個々の利用者に対する相談援助と関係機関との連絡調整
  - ・ユーザーアンケートの実施と第三者評価の受診、介護サービス情報の公表
  - ・日曜日と年末年始（12/31～1/3）を除く毎日開所

- (2) 指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。例：配食サービス）

## 3 サービス提供状況

### 【職員体制】

- ・管理者 1 名
- ・生活相談員 2 名
- ・介護職員 1 2 名
- ・看護職員 6 名
- ・機能訓練指導員 9 名
- ・運転手 2 名
- ・調理員 6 名
- ・介護アシスタント 2 名

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）

・

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会においては、本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としています。一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積り合わせ行っています。

## 5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

### (1) 延べ利用者数（実績値）

①令和5年度実績値 

8,703
-------

 人

②令和6年度目標値 

9,252
-------

 人

### (2) 実利用者数（実績値）

①令和5年度実績値 

1,002
-------

 人

②令和6年度目標値 

1,200
-------

 人

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人デイサービスセンター）

介護保険収入	85,635,350
利用料収入	7,982,583
委託料収入	
補助金収入	
寄付金収入	
雑収入	
その他	28,745,476
収入計	122,363,409

令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	79,067,834
事業費	18,881,235
委託費	
小額修繕費	
その他	24,410,422
支出計	122,359,491

## 6 施設の利用者満足度の把握

### (1) 利用者満足度の把握状況

利用者全員へアンケートを実施  
実施期間：令和6年2月  
実施内容：サービス内容及び職員に対する満足度等  
回収率：44.2%

### (2) 利用者満足度把握の結果

(送迎)	満足：85%、やや満足：12%、やや不満：3%、不満：0%、無記入：0%
(入浴)	満足：79%、やや満足：15%、やや不満：0%、不満：0%、無記入：6%
(食事)	満足：86%、やや満足：6%、やや不満：3%、不満：3%、無記入：3%
(レクリエーション)	満足：68%、やや満足：18%、やや不満：6%、不満：0%、無記入：9%
(機能訓練)	満足：59%、やや満足：18%、やや不満：12%、不満：0%、無記入：12%
(職員)	満足：85%、やや満足：14%、やや不満：0%、不満：0%、無記入：8%
(デイについて)	満足：88%、やや満足：9%、やや不満：0%、不満：0%、無記入：3%

### (3) 意見等への主な対応状況

寄せられたご意見を基に、サービス向上検討委員会にて、アンケートの集計と要望への回答をまとめ、ご利用者、ご家族に配布しました。

## 7 その他特記事項

### (1)

地域連携では、隣接する保育園からコロナ禍で制限はあるもののDVDでの交流を継続している。毎月発行の広報誌には、デイの取り組みや行事など掲載し、ご利用者・ご家族・担当ケアマネジャーに配布。次年度以降は交流事業も緩和し、積極的に活発に行う予定です。

### (2)

## 8 評価（指定管理者自己評価）

- ・自立支援をこころがけ、生活リハビリとして、できることはご利用者の役割として取り組んでいただけるよう、働きかけるようにしています。
- ・職員がそれぞれ個別にケースを担当し、担当職員がご本人のニーズを把握し、適切な支援につなげることができる体制をとっています。
- ・レクリエーションは、頭脳系や運動系を取り入れ、機能訓練も兼ねて行えるよう計画・実施しています。
- ・幅広い年齢層の職員構成になっており、ご利用者にとって、職員の交流も楽しみであり、刺激になっていると思います。
- ・今後も安心できるサービスを提供するため、人材育成、質の向上の取組、障がいを理由とする差別の解消などに向けた職員研修にも取り組んでいきます。